安全データシート · OSHA HCS 2024

Ammonium Hydroxide 20% Technical Grade

技術用 · NH3として20% w/w

準拠規格	改訂日	緊急連絡先
OSHA HCS 2024 · GHS Rev. 7	2026-11-20	Chemtel 1-800-255-3924 (24/7)

1 化学品及び会社情報

製品識別子	Ammonium Hydroxide 20% Technical Grade
グレード	技術用
濃度	NH3として20% w/w
CAS番号	1336-21-6
化学式	NH4OH
製造者	Alliance Chemical 204 South Edmond Street, Taylor, TX 76574
緊急連絡電話番号	Chemtel 1-800-255-3924 (24/7)
推奨用途	工業用／試験研究用化学品。第7項を参照。
使用上の制限	7項及び8項の安全な使用条件以外に、特定された制限はない。

2 危険有害性の概要



腐食性



刺激性 / 有害性



環境に対する有害性

分類	皮膚腐食性／刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分1 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（気道刺激性） 水生環境有害性 短期（急性） 区分1† † GHSの環境有害性クラス。OSHA HCS（29 CFR 1910.1200）では採用されていない。
注意喚起語	**危険**
危険有害性情報	H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H335 呼吸器への刺激のおそれ H400 水生生物に非常に強い毒性

注意書き

P234 他の容器に移し替えないこと。
P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P264 取扱い後は手や顔をよく洗うこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P301+P330+P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P310 直ちに医師に連絡すること。

P321 特別な処置が必要である（このラベルの応急措置の指示を見よ）。

P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

P391 漏出物を回収すること。

P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P405 施錠して保管すること。

P501 内容物／容器を地方、地域、国及び国際的な規制に従って廃棄すること。

分類、危険有害性情報（H）、注意書き（P）及び絵表示は、OSHA HCS 2024（29 CFR 1910.1200 付録A〜C）に従い、GHS改訂7版に整合する。

3 組成及び成分情報

成分	CAS No.	化学式	濃度
水酸化アンモニウム（NH3として）	1336-21-6	NH_4OH	19.5-20.5% (w/w)
水	7732-18-5	H_2O	残部 (w/w)

濃度は公称値であり、ロットごとの数値は分析証明書に記載されています。分類に寄与しない成分は省略されています。

4 応急措置

眼

多量の水で少なくとも15分間洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。洗浄を続け、直ちに医師の診察を受けてください。

皮膚

汚染された衣類を脱がせながら、直ちに多量の水で少なくとも15分間洗い流してください。石けんで洗い、直ちに医師の診察を受けてください。

吸入

被災者を新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休ませてください。呼吸が困難な場合は酸素を与えてください。呼吸していない場合は人工呼吸を行い、直ちに医師の診察を受けてください。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないでください。意識のない人には口から何も与えないでください。意識がある場合は口を水ですすぎ、直ちに医師の診察を受けてください。

最も重要な症状及び影響

皮膚、眼及び粘膜に薬傷を生じる。眼に入ると失明を含む永続的な損傷を起こすおそれがある。飲み込むと口、喉及び胃に薬傷を生じる。

吸入すると鼻、喉及び気道を刺激する（せき、喉の痛み）おそれがある。

直ちに必要な医療措置及び特別な処置

眼又は皮膚に付いた場合や飲み込んだ場合は、直ちに医師の手当てが必要である。ばく露終了後も組織の損傷が進行することがある。

5 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、CO2、水噴霧。容器を冷却するために水噴霧を使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状放水は、火災を飛散・拡大させるおそれがあるため使用しないこと。

特有の危険有害性	火災時に腐食性及び有毒なガスを発生するおそれがある。 加熱により容器が破裂するおそれがある。
保護具	空気呼吸器および完全な保護衣を着用してください。
危険有害な燃焼生成物	加熱するとアンモニアガスが発生する。約315 ℃（600 °F）を超えるとアンモニアは水素と窒素に解離する。火災時には窒素酸化物が発生する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項	第8項に記載の保護具を使用してください。十分な換気を確保し、作業者を安全な場所へ避難させてください。
危険有害性に応じた注意事項	保護具を着用せずに漏出物に触れないこと。残留物は当該物質に適した方法でのみ中和し、回収すること。
環境に対する注意事項	漏えい物が排水溝、下水道または水路へ流入しないようにしてください。
封じ込めおよび浄化の方法	不活性吸収材で吸収し、適切な廃棄容器に回収してください。関連法令に従って廃棄してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱い	十分な換気のもとで使用してください。皮膚、眼および衣類との接触を避け、取扱い後は十分に洗浄してください。使用しないときは容器を密閉してください。
安全な保管	冷涼で乾燥し、換気の良い場所に保管すること。耐腐食性の容器を使用すること。相容れない物質（セクション10参照）から離して保管すること。容器はしっかり密閉しておくこと。
保管上の特別な注意事項	直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に密閉して保管すること。内圧が上昇している可能性があるため、容器は静かに開けること。鋼またはポリエチレンを使用し、銅、黄銅、青銅、亜鉛、または亜鉛メッキの継手は絶対に使用しないこと。漂白剤、酸、およびハロゲンから遠ざけること。

8 ばく露防止及び保護措置

許容濃度

限度	値
OSHA PEL	50 ppm TWA
NIOSH REL	25 ppm TWA / 35 ppm STEL
IDLH	300 ppm

設備対策	十分な換気を行ってください。使用区域の近くに洗眼設備および安全シャワーを設置してください。
眼／顔面の保護具	化学用保護めがねまたはフェイスシールドを着用してください。
皮膚の保護	耐薬品性手袋および保護衣を着用してください。
呼吸用保護具	ミスト、噴霧または粉じんが発生する場合(噴霧、霧化、高圧洗浄など)は、酸性ガス/P100の組合せカートリッジを装着したNIOSH承認の半面形空気清浄式呼吸用保護具を使用してください。局所排気換気を確保してください。

ばく露限界はNIOSH Pocket Guide、OSHA 29 CFR 1910.1000およびACGIH TLVに基づいています。

9 物理的及び化学的性質

外観	強いアンモニア臭のある、無色透明の液体
臭い	データなし
臭いの閾値	データなし
pH	データなし
融点／凝固点	-57.5°C
沸点	38°C
引火点	該当しない
蒸発速度	データなし
可燃性（固体、気体）	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限／下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
相対密度	0.925 (20/20 ℃、水＝1)
溶解度	水と完全に混和する
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし
粒子特性	データなし
密度	0.9229 g/cm^3 (20 ℃において)

表示されている値は製品固有の標準データを反映しています。ロットごとの範囲は異なる場合があります。出荷ロットの試験成績書を参照してください。

10 安定性及び反応性

反応性	通常の使用及び保管条件下では反応性はない。
化学的安定性	推奨される保管条件下で安定です。
危険有害反応可能性	通常の取扱条件下ではありません。
避けるべき条件	熱および直射日光：アンモニアガスが発生し、密閉容器内の圧力が上昇する。混触危険物質との接触。
混触危険物質	漂白剤およびその他の次亜塩素酸塩、塩素、臭素およびヨウ素（有毒なクロラミンおよび爆発性化合物）；水銀、銀および酸化銀、金（爆発性化合物）；強酸（激しい反応、発熱）；強酸化剤。銅、黄銅、青銅、亜鉛、亜鉛めっき表面およびアルミニウム合金を腐食する。
危険有害な分解生成物	加熱するとアンモニアガスが発生する。約315 ℃（600 °F）を超えるとアンモニアは水素と窒素に解離する。火災時には窒素酸化物が発生する。

11 有害性情報

GHS危険有害性分類は第2項を参照してください。

想定されるばく露経路	吸入、皮膚接触、眼接触、経口摂取。

症状	皮膚、眼及び粘膜に薬傷を生じる。眼に入ると失明を含む永続的な損傷を起こすおそれがある。飲み込むと口、喉及び胃に薬傷を生じる。 吸入すると鼻、喉及び気道を刺激する（せき、喉の痛み）おそれがある。
遅発性及び慢性の影響	2項の分類以外に遅発性又は慢性の影響は確認されていない。
毒性の数値的指標	データなし

発がん性分類

機関	ステータス
IARC	発がん性物質として記載されていません。
NTP	発がん性物質として記載されていません。
OSHA	発がん性物質として記載されていません。

12 環境影響情報

水生環境有害性	`H400` 水生生物に非常に強い毒性
生態毒性	魚類LC50：約0.024 mg/L（48時間、Lepomis macrochirus — 未解離NH_3による影響（pH/温度依存）；範囲 0.024〜0.093 mg/L）
残留性・分解性	該当せず（無機；$NH_3 \rightleftharpoons NH_4^+$ 平衡）。非イオン化アンモニアによる毒性は、pHおよび温度の上昇に伴い増加する。
生物蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし

13 廃棄上の注意

内容物／容器は、適用される連邦、州および地方の法令に従って廃棄してください。排水溝や水路へ放出しないでください。

廃棄する場合、本品は腐食性の有害廃棄物（EPA RCRA D002、40 CFR 261.22：pH 2以下若しくは12.5以上の水性のもの、又は鋼を年6.35 mm超の速度で腐食する液体）に該当するおそれがある。 有害廃棄物に該当するかの最終判断は廃棄物の排出者が行うこと。

14 輸送に関する情報

US DOT (49 CFR)

国連番号	UN2672
正式輸送品名	Ammonia solution, relative density between 0.880 and 0.957 at 15 degrees C in water, with more than 10 percent but not more than 35 percent ammonia
危険有害性クラス	8
容器等級	III
環境有害性	GHSの水生環境有害性の基準に該当する。IMDGコード（海上輸送）上の海洋汚染物質に該当するおそれがある。

IMDG／IATAの分類は米国DOTと異なる場合がある。国際輸送の前に最新の規制を確認すること。

15 適用法令

インベントリ／リスト	ステータス
カリフォルニア州提案65号	非該当
米国環境保護庁（EPA）TSCAアクティブインベントリ	収載
EPCRA SARA 313 (TRI)	非該当
CERCLA報告対象量（RQ）	Ammonium hydroxide (CAS 1336-21-6) — RQ 1,000 lb (454 kg)

SARA 311/312の危険性区分は、第2項のGHS分類に対応します。 データ取得日： カリフォルニア州提案65号 2026-11-02; 米国環境保護庁（EPA）TSCAアクティブインベントリ 2026-11-02; EPCRA SARA 313 (TRI) 2026-11-02.

16 その他の情報

改訂日	2026-11-20
書式	OSHA HCS 2024（29 CFR 1910.1200 付録D）に基づく16項目の書式。GHS改訂7版に整合。

免責事項： 本安全データシートに記載された情報は、発行日時点で当社の知る限り正確なものです。本情報は特定された製品のみに関するものであり、他の物質との併用については対象としていません。ALLIANCE CHEMICAL は、商品性または特定目的への適合性を含め、明示または黙示を問わずいかなる保証も行いません。ALLIANCE CHEMICAL は、本製品の取扱い、保管、使用または廃棄から生じる損失、傷害、損害または費用について一切の責任を負いません。

Alliance Chemical, 204 South Edmond Street, Taylor, TX 76574。本安全データシートは、本製品について登録されている規制データに基づいて作成されている。